

評価対象年度 令和4年度

政策評価シート

政策番号 1

政策推進の基本方向	政策名称 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	政策担当 部局	経済商工観光部
富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進		評価担当 課室	富県宮城推進室

政策目標

農林水産業やものづくり産業、地域を支える商業や観光業といったサービス産業など、先進的技術の活用などにより、幅広い分野で「商品やサービスの付加価値を向上させる」「仕事に費やす時間や労力を減らす」取組を促進し、多種多様に变化する時代のニーズにしなやかに対応できる県内産業を構築します。

政策に対する県民意識調査の結果

重視度	令和3年度	78.7% 8位/8政策	令和4年度	78.6% 8位/8政策	令和5年度		令和6年度			
	満足度	令和3年度	43.6% 4位/8政策	令和4年度	34.0% 6位/8政策	令和5年度		令和6年度		
	本政策において優先すべきと思うテーマ		R3		R4		R5		R6	
		割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	
県民意識	①地域経済の核となる企業の誘致と先進的技術の活用促進		48.2%	2位	33.8%	5位				
	②研究開発拠点の形成や産学官連携による地域産業の活性化		27.6%	9位	23.6%	7位				
	③県内のものづくり産業の技術力・収益力の向上		50.2%	1位	37.0%	3位				
	④観光資源の創出・磨き上げによる高付加価値な観光産業の実現		29.3%	8位	13.5%	9位				
	⑤観光客の受入環境整備と戦略的な情報発信による誘客促進		42.1%	6位	22.5%	8位				
	⑥地域課題のニーズに対応した商業・サービス業の振興		44.9%	4位	34.0%	4位				
	⑦農林水産業の持続的発展と食産業の振興		44.4%	5位	38.3%	2位				
	⑧県産農林水産物の販路開拓や適切な生産管理の支援		38.8%	7位	29.1%	6位				
	⑨食の安全の確保と相互理解に基づく食の安心の促進		47.0%	3位	45.6%	1位				

政策を構成する施策の成果及び評価(原案)

番号	施策の名称と成果の検証	施策評価の原案
1	産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	概ね順調
	製造業や情報関連産業の新たな立地や県内企業の新増設により、県内における雇用機会の創出が進んだほか、学術機関と企業との産学官連携の取組が増加し、新事業創出の動きが生まれた。また、成長分野への販路開拓支援やセミナー、海外市場への参入支援等により、県内企業の人材育成、技術力強化、取引拡大等が見込まれることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	
2	宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	やや遅れている
	宿泊施設等の高付加価値化改修や教育旅行体験プログラムの磨き上げ等により受入体制を強化したほか、宿泊需要喚起策等により、延べ宿泊者数が前年比約32%の増加となった。また、持続可能な商店街ビジョンの形成により商業・サービス業の振興を図る等取組が前進したが、新型コロナウイルス感染症の流行により達成率に遅れが見られることから、総合的に本施策を「やや遅れている」と評価した。	
3	地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	やや遅れている
	生産性向上や担い手・経営体への支援に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により低下した需要回復のため様々なイベントを通じた消費喚起や、輸出に取り組む事業者支援を行った結果、消費拡大・販路拡大が図られ、今後に結びつく成果が得られた。しかし、目標指標の達成に向けては、対応方針に基づく更なる取組が必要となることから、総合的に本施策を「やや遅れている」と評価した。	

政策課題と対応方針	
政策課題	課題解決に向けた対応方針
1-1 次世代放射光施設を核とした新たな産業の創出	1-1 ・令和6年度の本格運用を見据え、次世代放射光施設を核としたリサーチコンプレックス形成に向けた誘致施策の展開や、県内企業の利用促進のための普及及び人材育成の推進 ・産学官連携による新産業の創出や研究・技術開発の促進、市場参入の推進
1-2 地域資源を活用した観光産業の振興	1-2 ・観光客のリピーター化に向け、観光客や観光事業者等からのニーズを踏まえた効果的な受入環境整備の推進 ・本県の認知度向上や東北周遊促進に向けた観光資源の発掘及びデジタルマーケティングによる戦略的プロモーション
1-3 「食材王国みやぎ」食のバリューチェーン構築	1-3 ・生産者と食品産業との連携強化の促進及び付加価値向上に向けたマーケティングに基づく商品開発からブランドイメージを踏まえた販路開拓までの支援 ・生産者、流通業者、実需者等が連携して取り組む供給網の構築に対し必要な施設・機械の導入等の支援
1-4 AI・IoTを活用した産業の生産性向上とイノベーションの創出	1-4 ・中小企業等のデジタル化支援や、県内企業のAI・IoT等の導入実証を促進し、先進的ビジネスの創出、市場形成を推進 ・3Dプリンタ、表面・界面制御技術やセルロースナノファイバー等を活用し、県内企業の商品開発や技術力向上を支援

政策目標に対する成果の検証	<p>本政策では、ものづくり産業については、企業の新たな立地や増設等により、雇用創出が行われるとともに、産学官連携による新事業創出の動きが生まれている。また、新規市場の開拓や技術力向上のためのセミナーの開催やビジネスマッチングの機会創出により、県内企業の人材育成、技術力強化及び取引拡大等も見込まれ、概ね順調に進んでいる。</p> <p>商業・観光・サービス業については、アフターコロナを見据えて、宿泊施設等の改修等の高付加価値化による受入体制強化、宿泊需要喚起策や国内外への情報発信を行ったことで、観光庁調査（速報値）では延べ宿泊者数が前年比約32%増となったほか、持続的かつ発展的な商店街の形成に向けたビジョンの策定などが行われたが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標指標の達成率が前年度に続き落ち込むなど、やや遅れが見られる。</p> <p>農林水産業については、生産性の向上や担い手・経営体への支援のほか、国内外の販路開拓や消費者への認知度向上に向けた取組が行われたが、新型コロナウイルス感染症や気候変動の影響により、産出額が伸び悩むなど、目標に対してやや遅れが見られる。</p> <p>以上のとおり、ものづくり産業の発展や新技術・新産業の創出については概ね順調に進んでおり、各産業においてもアフターコロナを見据えた事業が行われているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、特に観光業に係る目標指標の達成率で大きな落ち込みが見られることから、政策全体では「やや遅れている」と評価する。</p>
	<p>成果の検証を踏まえた評価原案</p>
	やや遅れている